

大分商工会議所青年部

令和4年度

提言書

令和5年2月

大分商工会議所青年部

会長 穴見 憲昭

目 次

ご挨拶

大分商工会議所青年部 会長 穴見 憲昭 …………… 1

第1. 具体的な提言…………… 2

第2. 提言に至った経緯…………… 2

第3. 提言の背景…………… 3

1. 日本における産業人口の推移…………… 3

2. 大分への外国人定着の現状…………… 6

3. 外国人留学生の現状（アンケート調査の結果）…………… 6、7

4. 大分県・大分市の外国人留学生SWOT分析…………… 7

5. 外国人定着率増加がもたらす効果…………… 8

第4. 結語…………… 8

ヒアリング・アンケート調査先一覧…………… 9

おわりに

大分商工会議所青年部 地域活性化委員会 副会長 上園 啓司…………… 10

添付資料 大分在学留学生へのアンケート

令和4年度地域活性化委員会 名簿

地域活性化委員会担当	副会長	上園	啓司
地域活性化委員会	委員長	芳山	達彦
	副委員長	竹森	伸介
	副委員長	土居	巧和
	委員	相部	圭亮
	委員	秋吉	優子
	委員	池辺	佑理
	委員	伊藤	志浩
	委員	岩満	洋輝
	委員	梅本	和友
	委員	江畑	敏也
	委員	工藤	恭徳
	委員	後田	明希
	委員	其良	史史
	委員	奈濱	剛史
	委員	濱本	幸剛
	委員	須田	
	委員	山本	博

ご 挨拶

大分商工会議所青年部（大分 YEG）は昭和 57 年の創立以降、地域社会の発展を目指し、100 名を超える会員が一丸となって様々な事業に取り組んでまいりました。

多くの事業がある中、この政策提言事業も平成 29 年度からスタートし、今年で 6 年目になります。過去 5 つの提言案を作成し、大分県、大分市、大分商工会議所等に提言させていただきました。

これらは、我々大分 YEG がイベントや事業を開催することで大分を盛り上げるだけでなく、大分の地で商工業に携わる青年経済人として、若い視点とネットワークで調査・研究した提言を行政に行うことで地域経済全体の活性化を目指すものであります。また、昨年度までは年度内に一つの提言テーマを設定し、作成した後に提言する、といった手法で行ってまいりましたが、今年度は上記の通り、過去作成した 5 つの提言テーマがありますので、それらを一度見直し、時代の変化等も踏まえ、再調査とブラッシュアップを加え、再提言させていただきました。

いま、大分市のみならず日本全体の経済が大きく変化していっていると言えます。3 年前から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの業界は痛手を負い、さらには二次的三次的な影響もでております。さらに昨年には原油高、原材料費の高騰、物価高、類を見ない円安と追い打ちかのような状況が続いております。また、兼ねてから問題視されている少子高齢化・人口減少社会という課題に於いても、この大分は例外ではなく、このまま進行すると生産年齢人口の減少や人口流出、社会保障費の負担増等にも繋がり、地場企業の衰退を進めてしまう原因にもなります。

そのような現状の中で、我々大分 YEG として何をすべきか？どうあるべきか？を考えた結果の一つがこの提言の取組みとなります。この提言が実を結ぶことに期待すると共に我々大分 YEG も実現に向けてやれることをしっかりと取り組んでいく所存です。

結びに本提言書の作成にあたり、ご協力を賜りました関係者のすべての方々から心からの感謝を申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。

大分商工会議所青年部
第 41 代会長 穴見 憲昭

第1 具体的な提言

- 1 外国人留学生が企業へ長期に亘るインターンシップを行えるよう、交通費等必要経費の助成制度の確立を提言します。
- 2 外国人留学生、大分市の企業の魅力を双方に伝え、需要と供給のミスマッチを解消するため、大分市に残って働きたい意思のある外国人留学生と大分市の企業とのマッチングイベントやビジネスプランコンテスト等を開催する場を定期的に設けることを提言します。

第2 提言に至った経緯

私たち、令和4年度大分商工会議所青年部地域活性化委員会は、過去5年間大分市に提言した政策提言の内容を調査・研究し、必要があれば再提言という形で政策提言を行うことを目指して活動をしてきました。その調査の中で、平成30年3月、当時の平成29年度大分商工会議所青年部より、「外国人留学生の県内就職促進の起爆剤となり得る特定複合観光施設区域の整備の是非」について検討の場を設けてほしいという提言を提出させて頂きました。しかし、昨今の情勢を踏まえると大分市への特定複合観光施設の誘致が厳しい状況にあることから、当時の提言の目的であった外国人留学生を大分市へ定着させる為の調査・研究を行いました。その結果、外国人留学生の企業へ求めるニーズと、企業の求める外国人像とのミスマッチがあることが分かり、通常3日程度の短期で行うインターンシップを1ヶ月超の長期で行うことによって、外国人留学生が高い技能を持っていることを企業に理解してもらい、また、外国人留学生には大分市の企業の魅力を理解してもらうことがミスマッチの解消につながると考えました。その為インターンシップに関する交通費等必要経費の助成制度及びマッチングイベントやビジネスプランコンテスト等を開催する場を定期的に設けることを提言致します。

第3 提言の背景

1 日本における産業人口の推移

(1) 総人口の推移

2021年10月1日現在の総人口は1億2,550万人で、前年に比べ64万4千人（▲0.51%）の減少となり、減少幅は比較可能な1950年以降過去最大となっています。また、自然増減（出生数－死亡数）は60万9千人で2007年以降15年連続の自然減少となり、減少幅も増加しています。社会増減（入国者数－出国者数）に関しても3万5千人の減少となっており、日本人・外国人の別にみると、日本人は7千人の減少で、外国人は2万8千人の減少となっている。外国人に関しては2013年以降右肩上がりに増加していたものの、2021年に関しては新型コロナウイルス感染症の影響により減少したものと思われ（表1参照）。

(2) 生産年齢（15歳から65歳未満）人口の推移と予測

少子高齢化の進行により、我が国の生産年齢人口（15～64歳）は1995年をピークに減少しており、2050年には5,275万人（2021年から29.2%減）に減少すると見込まれている（図1参照）。生産年齢人口の減少により、労働力の不足、国内需要の減少による経済規模の縮小など様々な社会的・経済的課題の深刻化が懸念されます。

(3) 在留外国人数の増加

在留外国人数は2013年以降、年々増加しており、増加率も2017年は7.1%と高い伸び率となっています。2019年6月の在留外国人数は282万人となり、在留資格別でも特別永住者を除き、あらゆる資格の在留者が増えています（表2参照）。

また、外国人労働者を産業別にみると、製造業（29%）、卸売業・小売業（13%）、宿泊業・飲食サービス業（13%）、建設業（6%）、教育・学習支援業（4%）、情報通信業（4%）、医療・福祉（2%）など幅広い分野で外国人労働者が日本の人手不足を補填していることが分かります。

少子高齢化により生産年齢人口の著しい減少が進んでいる日本社会における外国人材の受け入れは、深刻化する人手不足の補填にとどまらず、企業の技術革新や収益拡大を促して日本経済の成長に資すると期待されています（図2参照）。

表 1 総人口の推移 (2012年～2021年)

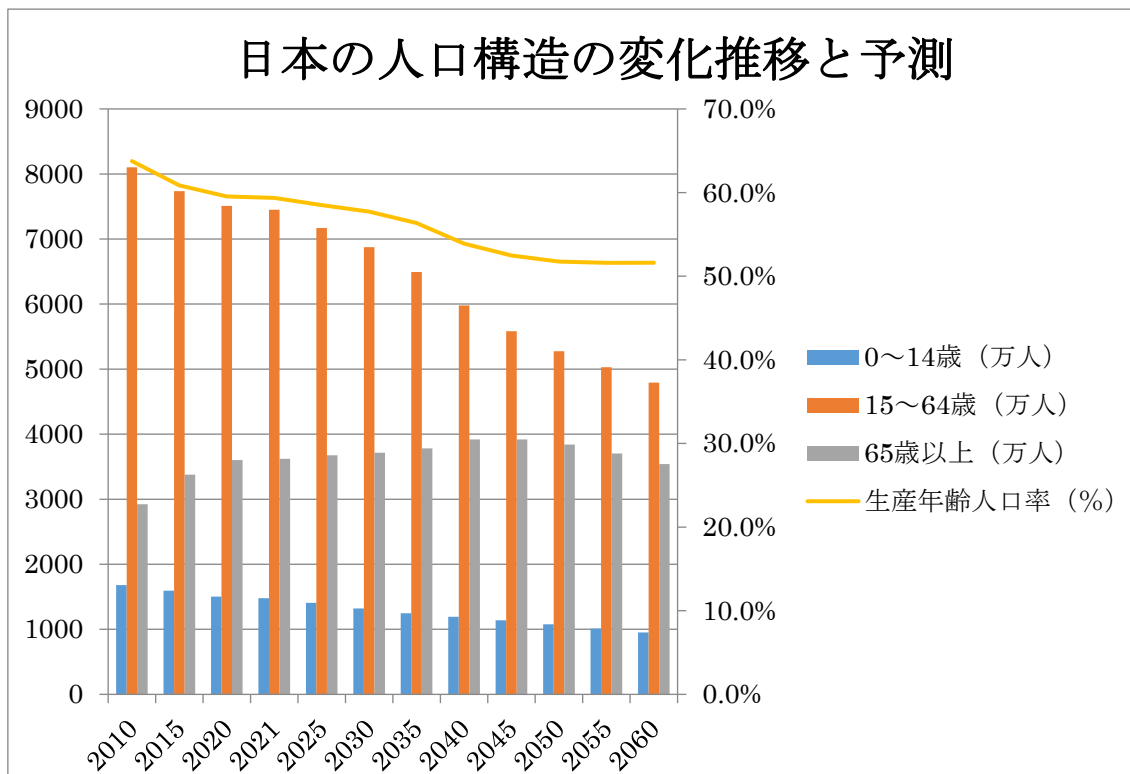
(単位 万人)

年次	総人口						
	10月1日 現在人口	純増減		自然 増減	社会 増減	日本人	外国人
		増減数	増減率 (%)				
2012	12,759	▲24.2	▲0.19	▲20.1	▲7.9	▲2.3	▲5.6
2013	12,741	▲17.9	▲0.14	▲23.2	+1.4	▲2.3	+3.7
2014	12,723	▲17.7	▲0.14	▲25.2	+3.6	▲2.3	+6.0
2015	12,709	▲14.2	▲0.11	▲27.5	+9.4	▲0.1	+9.5
2016	12,704	▲5.3	▲0.04	▲29.6	+13.4	▲0.2	+13.6
2017	12,691	▲12.3	▲0.1	▲37.7	+15.1	+0.4	+14.7
2018	12,674	▲17.0	▲0.13	▲42.5	+16.1	▲0.3	+16.5
2019	12,655	▲19.3	▲0.15	▲48.5	+20.9	+0.1	+20.8
2020	12,614	▲40.9	▲0.32	▲50.1	+4.2	+2.1	+2.1
2021	12,550	▲64.4	▲0.51	▲60.9	▲3.5	▲0.7	▲2.8

(出典) 総務省統計局

図 1 日本における人口構造の変化推移と予測

(単位 万人)



(出典) 内閣府 (2022) 「令和 4 年版高齢社会白書」よりグラフ作成

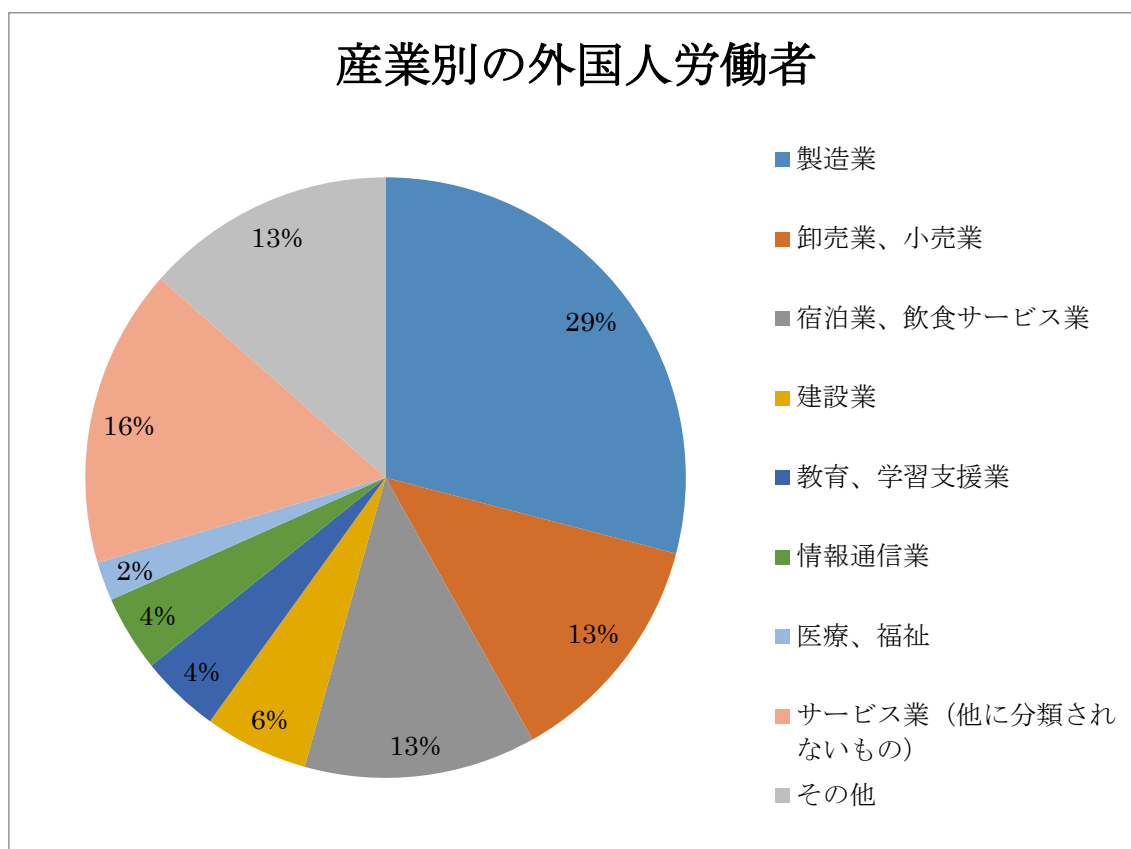
表 2 在留外国人の推移

(単位 人)

年次	6月30日 現在人口	純増減	
		増減数	増減率 (%)
2013	2,049,123	—	—
2014	2,086,603	37,480	1.8
2015	2,172,892	86,289	4.1
2016	2,307,388	134,496	6.2
2017	2,471,458	164,070	7.1
2018	2,637,251	165,793	6.7
2019	2,829,416	192,165	7.3
2020	2,885,904	56,488	2.0
2021	2,823,565	▲62,339	▲2.2

(出典) 出入国在留管理庁「在留外国人統計」より表作成

図 2 産業別の外国人労働者



(出典) 厚生労働省調べ：2019年10月

2 大分への外国人定着の現状

(1) 大分市における生産年齢人口の推移

2015年の大分市の生産年齢人口は293,642人であったものが、2045年には67,843人減の225,799人と推計¹されております。この人口減少により、大分市の産業・経済をはじめ、地域社会や市民生活に深刻な影響を及ぼすおそれがあります。

(2) 大分市の外国人の住民数

大分市の外国人住民数は70か国計3,237人(2022年3月31日現在)。人口に対する割合で考えると約0.7%となり、県別でみると25位の大分県外国人比率とほぼ同数値となり、決して高くはない数値といえます(1位東京都2.43% 2位愛知県2.16% 3位大阪府1.85%)²。

(3) 大分県内の外国人留学生の定着率

大分県の外国人留学生数は93か国3,591人であり、人口10万人当たりの留学生の人数は316.4人で47都道府県中第3位と高水準にあります。

しかし、県内外国人留学生の卒業生のうち、国内就職者に占める県内就職率は、2019年度で16%となっており³、多くの留学生がいるにもかかわらず、外国人留学生の定着の機会を逃していると言えます。

3 外国人留学生の現状(アンケート調査の結果)

大分県内の4年制大学に通う留学生281人を対象としてアンケート調査を行ったところ、「あなたは今後も大分に住みたいと思いますか?」との質問に対して(はい)と答えた学生が61.9%と、多くの学生が今後も大分に住みたいという結果になりました。また、「あなたには大分で働きたいと思う企業がありますか?」との質問に対しては(はい)と答えた学生が33.8%にとどまり、多くの学生が大分に住みたいと思っている反面、大分で働きたい企業、自分の能力を發揮できる職業がない、もしくは大分の企業を知らないという可能性があります。さらには、「大分で就職活動をするとしたら重要視するものは何ですか?」との質問に対して7割以上の学生が「社内の雰囲気」と回答した。つまりは外国人留学生に対して、大分の企業の魅力を伝える場等を設けることにより、外国人留学生が今後も大分に定着してくれる可能性が上がると考えられます。また、「5年以内に起業したいと思いますか?」との質問に対して(はい)と答えた学生が45.2%と半数近

¹ 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推移計人口(平成30年度推計)」

² 大分市ホームページ 国・地域別外国人住民数集計表(2021年度)より

³ 大分県調べ(「大分県の留学生の就職・起業支援の取組について」)

くの学生が 5 年以内に起業したいと思っているという結果になり、外国人留学生の起業に関する意識が高いことが分かりました。

※アンケートの詳しい結果に関しては別添参照

4 大分県・大分市の外国人留学生 SWOT 分析

上項の大分への外国人定着の現状、外国人留学生の現状（アンケート調査の結果）及び留学生のヒアリングより、SWOT 分析を行った（表 3 参照）。

表 3 大分県・大分市の外国人留学生 SWOT 分析表

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<p>《強み (Strength) 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県の留学生数は、人口 10 万人当たり 316.4 人で全国第 3 位の高水準。 ・豊かな自然、温泉を魅力的だと思われている。 ・今後も大分に住みたいと思っている留学生が多い。(61.9%) ・起業したいという留学生がいる。 ・留学生同士のコミュニティを継続するため、引き続き大分に住みたいと思っている。 	<p>《弱み (Weakness) 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分市の外国人住民数は、総人口に対する割合約 0.7%。 ・外国人留学生の卒業生のうち、国内就職者に占める県内就職率は、2019 年度で 16%。 ・今後、外国人留学生が大分で働きたいと思う企業が少ない。(33.8%) ・卒業後は東京などの都心部に就職する。 ・海外に対する「大分」の知名度やブランド力は低い。 ・留学生が大分で働きたいと思えるような企業が少なく、または企業を知らない。 ・外国人が活躍できる職種が少ないと感じられている。 ・起業を手助けする外国人が少ない。 ・大分で起業したいという外国人留学生が少ない。(33.5%)
外部環境	<p>《機会 (Opportunity) 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の「新たな外国人材の受け入れ」の方針により、外国人住民は今後も増加予測。 ・大分空港:宇宙港により海外からの宇宙関連企業の誘致、国際線の拡充。 	<p>《脅威 (Threat) 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国外の「ゼロコロナ対策」、円安などの影響。 ・甚大な自然災害発生への懸念。(南海トラフ地震、風水害など)

5 外国人定着率増加がもたらす効果

- (1) 今回、外国人留学生の起業や定着率増加に対しての取組みを積極的に行っている大阪府のダイバーシティ研究所及び関西大学への訪問・調査によって、地方での外国人留学生の地域定着は、地域の活性に繋がり、税金や町おこし、人口増加、母国からのインバウンドにも繋がると考えを伺った。留学生が今後大分市で活躍するためにも、行政や、企業、メディア一丸となって取り組むことにより、大分市内での留学生が望む就職をサポートできる形を確立出来たらより一層の大分市の発展に繋がります。
- (2) 大分市観光戦略プランにもある通り、国や地域によって異なるニーズに応じたパワーブロガー等のインフルエンサーの活用による情報発信や、海外企業に向けてのプロモーションになり、商品の輸出力を高める効果や、観光客の消費促進にも繋がると考えられる。また、海外マーケットへのマーケティングを意識することにより、企業としての国際競争力を高めることが出来ます。

第4 結語

以上の通り、これからの大分市の将来の為に外国人留学生の定着率増加は不可欠なものであり、必ず大分市の発展に繋がると考えます。留学生と大分市内企業とのマッチングイベントやビジネスプランコンテスト、インターンシップ等に関しての環境整備だけでなく、外国人を多く採用している企業の誘致や、宇宙港を進めていく中での産業の幅の広がりに対して多くの外国人が能力を発揮できる環境を整える等、様々なやり方、ビジネスチャンスがあります。現在行っている取組みとこれから行っていく取組みを広報していくことも重要な活動の一つだと思います。また、マッチングイベントやビジネスプランコンテスト等の開催に関して、外国人留学生はもちろんのこと、企業の集客も課題であるとお聞きしました。

大分商工会議所青年部には様々な業種の会員が在籍しています。我々大分商工会議所青年部としましても、地域経済の活性化の為に行政と連携した取組みは不可欠であると考えており、外国人留学生と大分市の企業とのマッチングイベントやビジネスプランコンテスト等が開催された際には企業としての参加だけでなく、大分市で活動している我々の友好団体への参加依頼や共催等、様々な形で全面的に協力をさせて頂けるかと思えます。大分市のために会員一丸となり、地域経済を活性化する取組みを行っていきますので、今後ともよろしくお願い致します。

本提言書にあたりヒアリング調査及びアンケート調査にご協力頂いた各支援機関（敬称略）は、以下の通りです。ご協力に感謝いたします。

1 ヒアリング調査

大分市商工労働観光部創業経営支援課

大分市商工労働観光部商工労政課

にほんご **Compass**

一般財団法人ダイバーシティ研究所

関西大学

大阪産業局

2 アンケート調査

立命館アジア太平洋大学

国立大学法人大分大学

別府大学

学校法人文理学園日本文理大学

お わ り に

今年度の政策提言は、提言書内でも触れておりますが、過去5年間大分市に提言した政策提言の内容を再度調査・研究を行うことから活動をスタートしました。

そこでまず、過去の提言に関しての内容を委員会メンバーで共有し、また、大分市の取組状況をメインに調査を行いました。大分市の取組で前に進んでいる提言内容もありますが、その中で我々は、平成29年度「外国人留学生の県内就職促進の起爆剤となり得る特定複合観光施設区域の整備の是非について検討の場を設けてほしい」という提言内容に着目し、提言書内に記載がある「外国人留学生の就職等による県内定着を促進する積極的な施策」は、大分市の将来の為には不可欠なものであり、必ず地区商業に寄与すると考え、本提言としました。

少子高齢化により生産年齢人口の著しい減少が進んでいる現在の日本で、優秀な人材である外国人留学生の就職は、深刻化する人手不足の補填だけでなく、企業の新たなイノベーションを促し、企業の発展に寄与すると考えております。外国人留学生のアンケート調査結果と大阪府への視察調査により、外国人留学生の企業へ求めるニーズと、企業の求める外国人像とのミスマッチを問題とし、ミスマッチを解消すべく、外国人留学生に焦点を当てた助成制度と、外国人留学生と大分県内多数の企業が集まる大分市内企業を繋げる場の提供を定期的に設けていただくことは、外国人留学生を大分市へ定着させる為の一案ではありますが、人口増加、税金の増額や町おこし、インバウンド増加等、多大なメリットを生み出すと考えております。

最後になりますが、本提言に当たって当初よりご支援くださった大分市と、外国人留学生方へのアンケートや調査にご協力いただきましたAPU立命館アジア太平洋大学キャリア・オフィス課長の篠崎様、竹林様をはじめとする県内各大学関係者様、にほんご Compass 小野様、政策提言のヒントをいただきました一般財団法人ダイバーシティ研究所田村様及び関西大学国際部池田教授、古川教授、国際事務局牛島様、大阪産業局 HR 戦略部 部長の齋藤様、曾川様には心より御礼申し上げます。本提言が大分市の施策に反映され、大分市の地域経済の活性化が促進されることを信じ、本提言書の結びとさせていただきます。ありがとうございました。

大分商工会議所青年部
担当副会長 上園 啓司

大分在学留学生に 聞きました!!

大分への定着率を上げるアンケート

大分商工会議所 青年部
地域活性化委員会

はじめに

大分県在学中の大学生(留学生)281名に対して、大分の魅力や、大分での起業や就職、永住などに対するの考えや思いを全11問アンケートを実施しました。

今回のアンケートを元に今後の大分の発展や、留学生の定着の向上につながればと考えております。

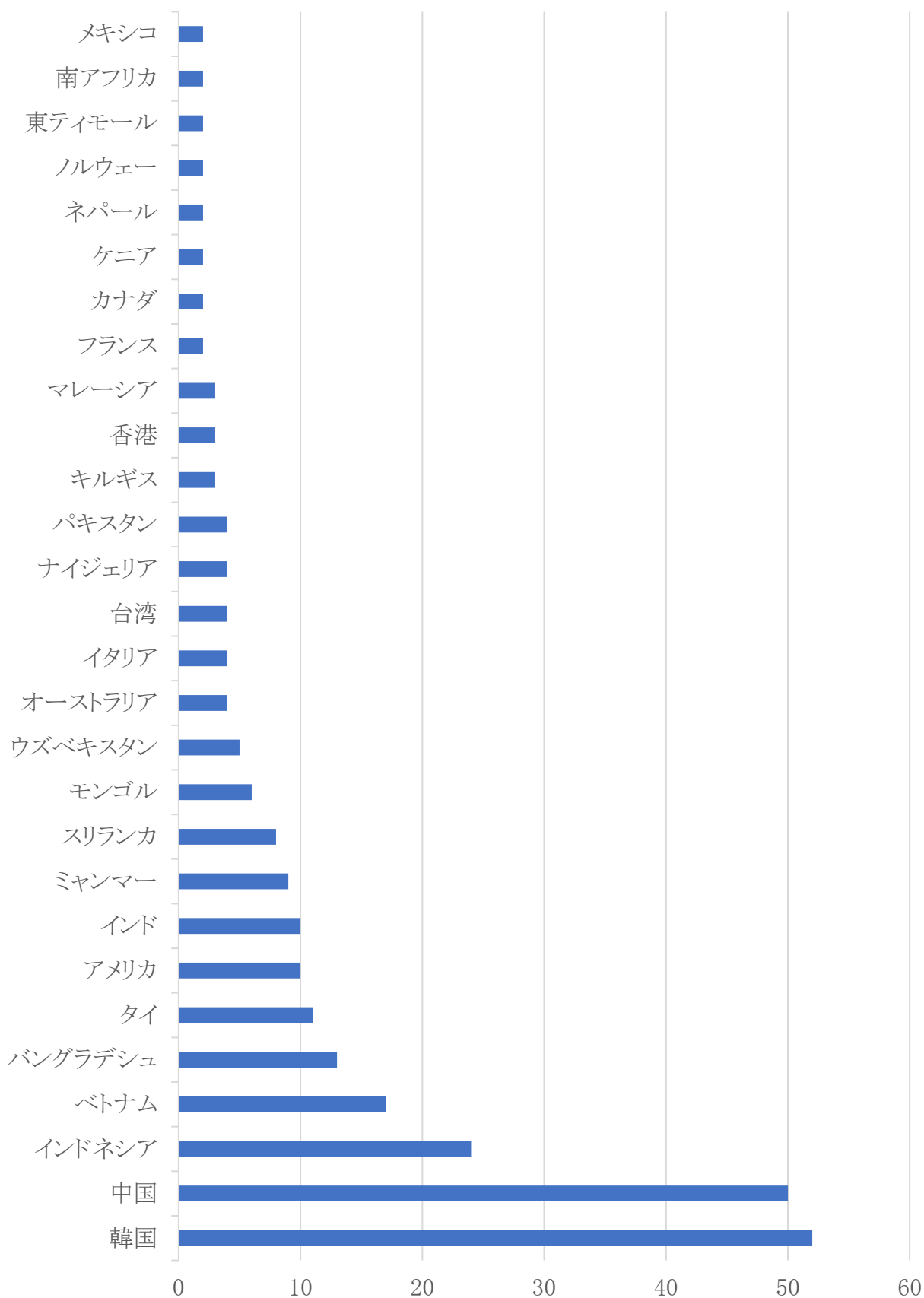
◆アンケート実施期間:

令和4年9月29日～10月14日まで実施

◆アンケート協力学校:

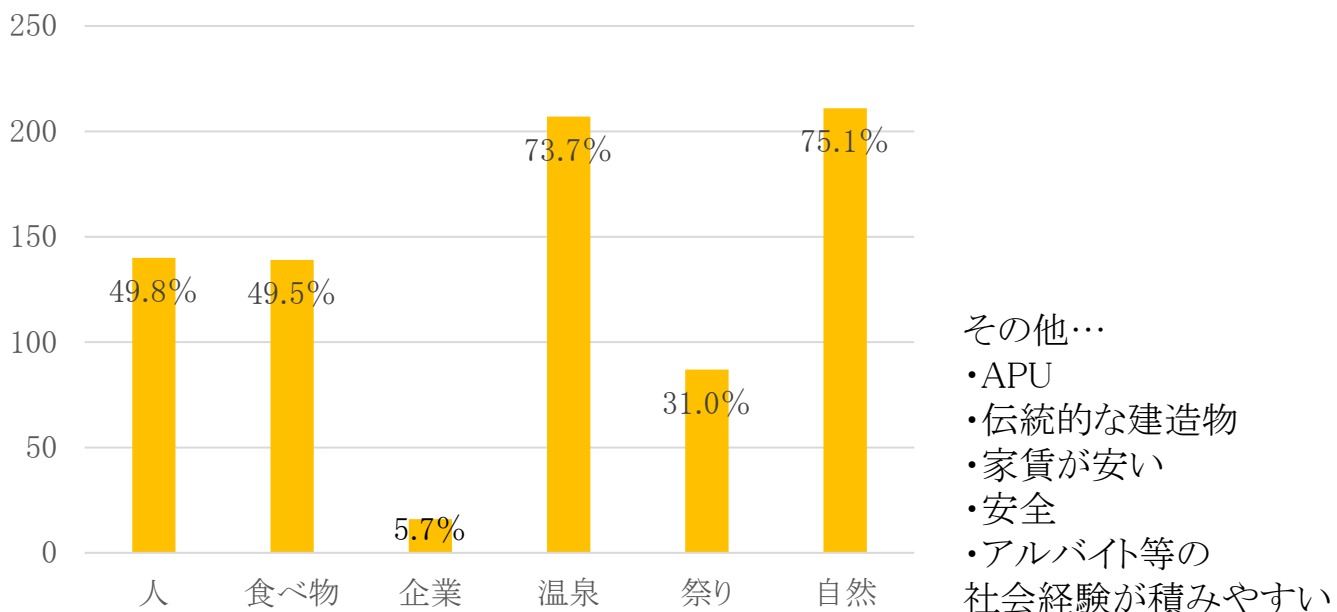
- ・立命館アジア太平洋大学
- ・国立大学法人 大分大学
- ・別府大学
- ・学校法人文理学園日本文理大学

①出身国はどちらですか？

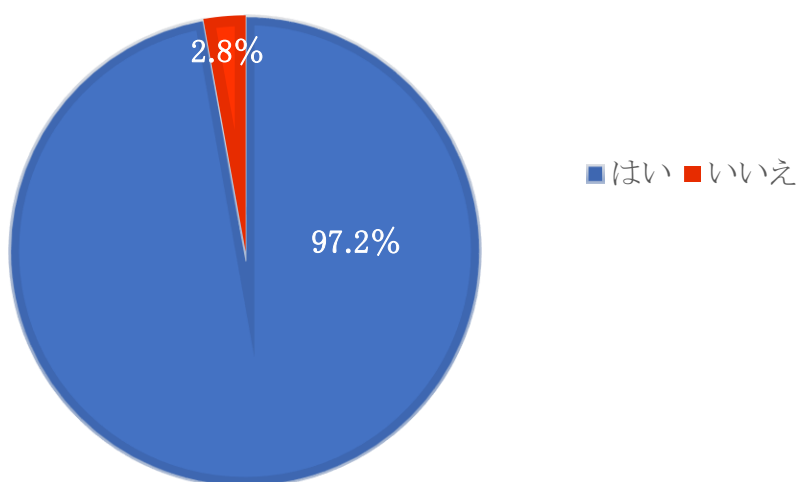


その他…ペルー、モロッコ、イングランド、エチオピア、ガーナ、ガボン、シリア、シンガポール、スイス、セネガル、ドイツ、日本、ニューカレドニア、パプアニューギニア、フィジー、フィリピン、フィンランド、ブータン、ベネチアボルビア、ルワンダ

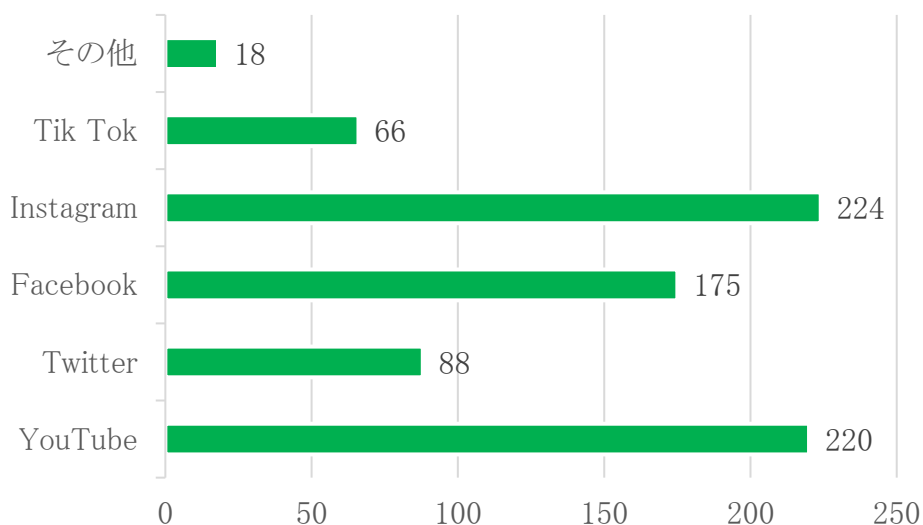
②あなたが大分の魅力だと感じるものは何ですか？



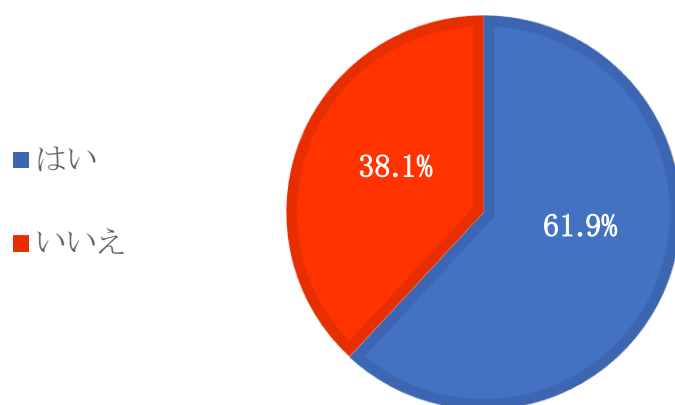
③SNSを利用していますか？



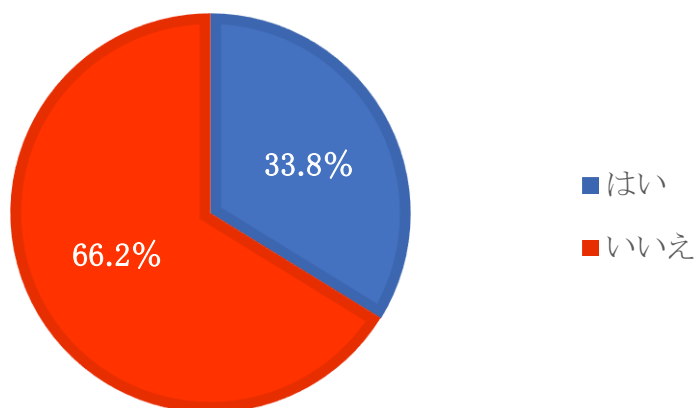
④利用しているSNS



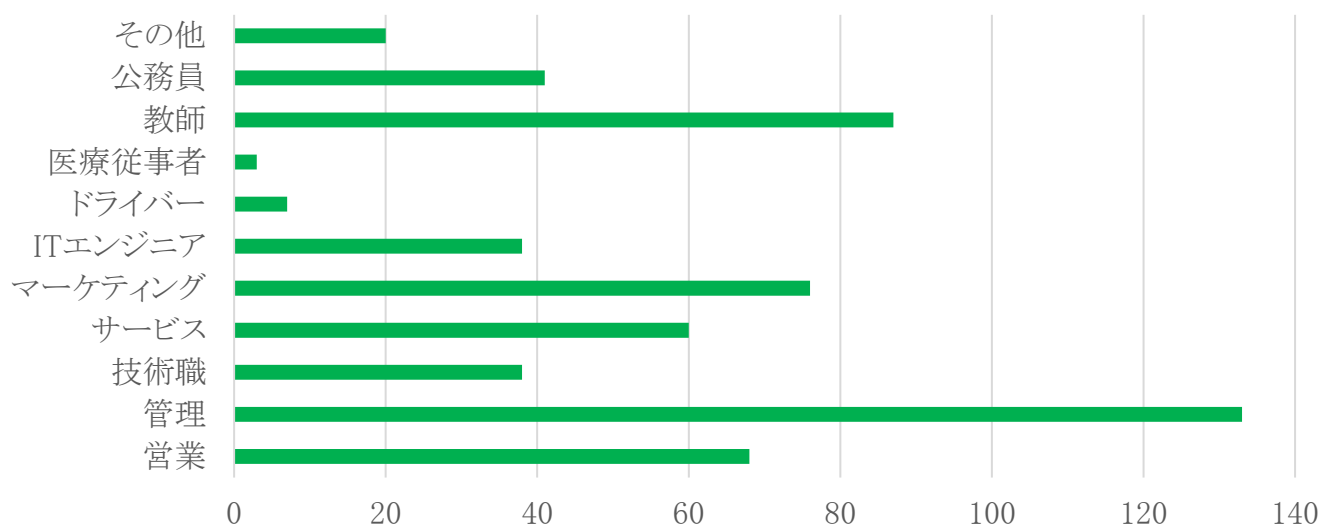
⑤あなたは今後も大分に住みたいと思いますか？



⑥あなたには大分で働きたいと思う企業がありますか？



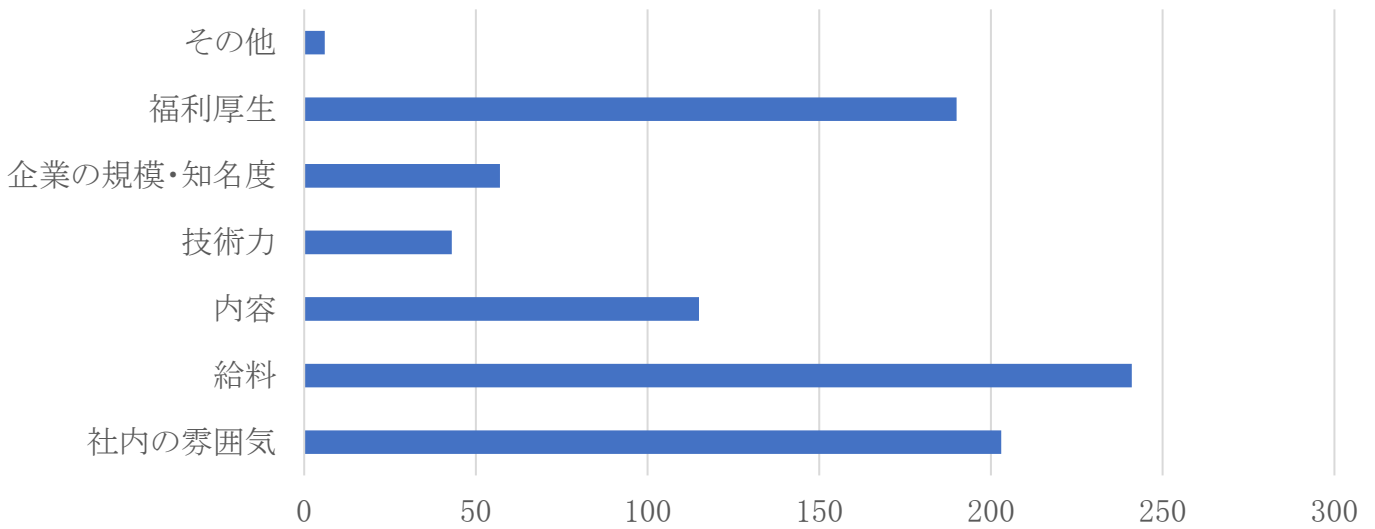
⑦大分で働くとしたらどのような業種を希望しますか？



その他…

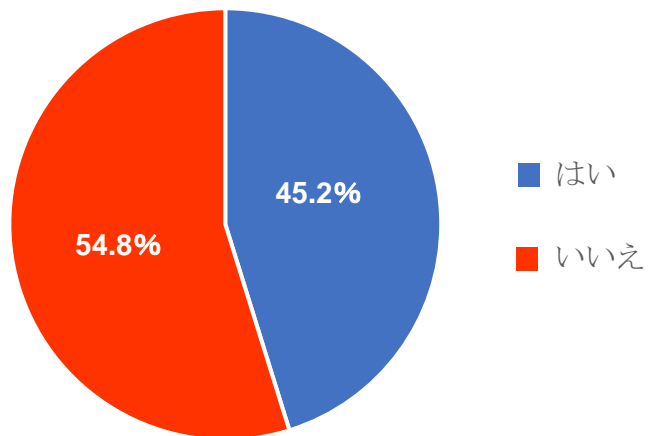
旅行代理店・観光関係、企画広報動物愛護・獣医、ホテル業、建築関係

⑧大分で就職活動をするとしたら重要視するものは何ですか？

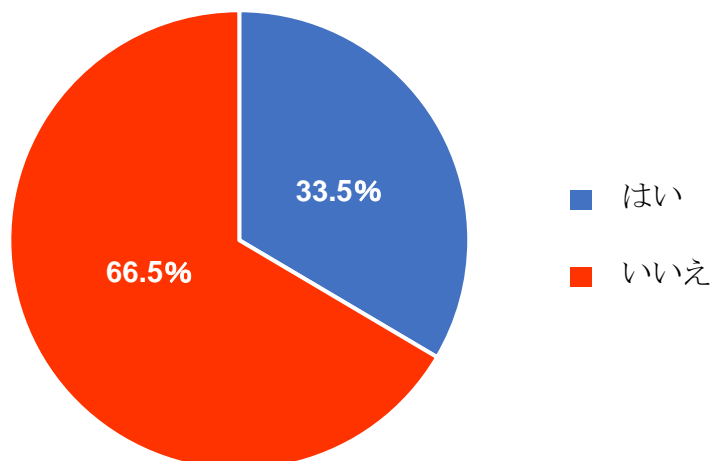


その他…言語、祖国への帰国時の有給休暇の理解

⑨5年以内に起業したいと思いませんか？



⑩大分で起業したいと思いませんか？



⑪今後、大分に住み続ける、大分で働く場合、大分に求めるものはなんですか？

- ・満足していますが、もっと遊べるところが増えて欲しい
- ・生活上の便利さです。自動車以外の交通手段増加
- ・起業する際のサポート
- ・多文化共生を実現するための生活支援
(法律、移住、就職、医療等の分野)
- ・ベジタリアン料理, 新幹線
- ・優しいの社内雰囲気、安全性など
- ・道の舗装
- ・大分の強みである観光にもっと特化して行く必要がある
- ・外国人が活躍できる職種の幅を広げてほしい
- ・交流イベントを多く開催する
- ・大都市化
- ・起業を手助けする外国人
- ・給料水準が高い企業
- ・APUがあるから今は大分に住んでいますが、働くと考えると魅力的な企業がない
- ・子供が出来たら、大分の学校に通わせるか悩み中。世界的な教育(人を傷つけない自己主張の仕方を教える・複雑な話題に対して様々な考え方が交差できる・集団思考より柔軟な考え方が身につく、のような教育)